

1 理念・目的

1. 現状の説明

(1)大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。

<1> 大学全体

- ①東京医療保健大学は、建学の精神である「科学技術に基づく正確な医療保健の学問的教育・研究及び臨床活動」、「寛容と温かみのある人間性と生命に対する畏敬の念を尊重する精神」に則り、医療分野において特色ある教育研究を実践することで、時代の求める高い専門性、豊かな人間性及び教養を備え、これからの社会が抱える様々な課題に対して、新しい視点から総合的に探求し解決することができる人材の育成を図ることを理念・目的として定めている(資料1 「東京医療保健大学学則」1頁)。
- ②また、理念・目的に則り、医療及び保健の現場に役立つ専門職教育を行うこととし、横断性と専門性とを調和したケアー、医学的栄養科学教育、デジタル化時代に対応できる情報教育、リスクマネジメント及び病院感染に関する教育、治療達成度評価に必要な統計学的及び免疫学的教育などに力を入れて学部及び大学院教育を行っている。

<2> 医療保健学部

- ①医療保健学部には、看護学科、医療栄養学科、医療情報学科を設置しており(資料3 「大学基礎データ (表3) 学部・学科、大学院研究科の志願者・合格者・入学者の推移」)、3学科共通の教育目的として、「ますます高度化する医療保健活動に対応し、グローバルな視点で活動できる高度な知識・技術を持った専門職の育成」、「医療保健活動のチーム化を踏まえ、他の専門職と協調して医療保健活動を遂行できる人材の育成」及び「医療保健活動の原点とも言うべき「現場」に興味を持ち、「現場」を愛する専門職の育成」の3項目を掲げている。
- ②この教育目的に基づき、医療保健学部の各学科は、教育研究成果のエッセンスを相互に提供し合うことで幅広い視野を持った専門職及びチーム医療人として協調・協力ができる人材の育成を目指している。

<3> 医療保健学部 看護学科

本学の教育理念及び医療保健学部の教育目的に基づき、看護学科においては、「新しい時代のニーズに対応した看護師及び保健師の養成」、「本学の教育環境を活かした、医療現場におけるチーム医療の中核として活躍できる人材の育成」及び「看護師に必要不可欠な幅広い人間観を有する専門職の養成」を教育目標としている。

また、看護学科を母体として平成21年4月に設置した助産学専攻科は修業年限1年、入学定員15名であり、「助産師として周産期のみならずライフサイクル全般にある

女性、乳幼児、家族そして地域社会を対象に、すべての女性に寄り添い、女性の内なる力を信じ、人間性を重視したケア・支援を行う専門職を育成すること」を教育目標としている。

〈4〉 医療保健学部 医療栄養学科

本学の教育理念及び医療保健学部の教育目的に基づき、医療栄養学科においては、「新しい時代のニーズに合った医療を意識した管理栄養士の養成」、「栄養学分野の高度専門職として、チーム医療において他の関連専門職とともに的確に責務を果たせる栄養サポートチームの中核として活躍できる人材の育成」及び「人間存在の根源的問題である「食」に取り組むために必要不可欠な幅広い人間観を有する専門職の養成」を教育目標としている。

〈5〉 医療保健学部 医療情報学科

本学の教育理念及び医療保健学部の教育目的に基づき、医療情報学科においては、看護学科及び医療栄養学科とのコラボレーションを行いながら、「医療現場を理解することで、病院等の現場及び医療・健康に関する企業等で、情報技術の専門職として活躍できる人材の育成」及び「医療保健の専門職に必要な幅広い人間観を有する専門職の養成」を教育目標としている。

〈6〉 東が丘看護学部 看護学科

本学の基本理念に基づき、「変化する時代を幅広く見据えながら、専門職として自律性を持ち、臨床判断し、確かな看護の実践能力をもって発展的に未来の看護を創造しうる看護職を育成すること」を教育目的としている。

また、独立行政法人国立病院機構と連携して、その豊富な臨床現場を活用し、「臨床に強い高度医療に対応した、高度な看護実践能力を身につけた看護職の育成」、「自分で考え、判断し、行動できる自律した看護師の養成」及び「医療現場でチーム医療の中心的存在となり、コーディネーター役を果たせる看護職の育成」を教育目標としている。

〈7〉 医療保健学研究科

本大学院修士課程及び博士課程は、「科学技術に基づく正確な医療保健の学問的教育・研究及び臨床活動」及び「寛容と温かみのある人間性と生命に対する畏敬の念を尊重する精神」を教育目的とし、全人格的理解を基盤として、学際的・国際的な視点から医療保健学を教授し、臨床現場における卓越した実践能力及び研究・教育・管理能力を持つ高度専門職業人を育成する(資料2 「東京医療保健大学大学院学則」1頁)とともに、教育・研究を通して医療保健学の発展に寄与することを教育目標としている。

〈8〉 看護学研究科

看護学研究科修士課程は、高度実践看護コースを設置しており、独立行政法人国立病院機構と連携して、その豊富な臨床現場を活用し、医療における高度な看護実践を

担い、救急医療などの迅速な医療を提供する必要性に対応して、医師やコメディカルスタッフとのスキルミックスにより権限の委譲・代替を創出的に実践する能力を備えた看護職、すなわち高度な臨床実践能力に基づきクリティカルケア領域で活躍しうる高度な実践ができる看護師の育成を図ることを教育目的とし、実践の教育を重視し、救急医療の現場などにおいてフィジカルアセスメント能力を基盤にタイムリーに判断し、スキルミックスに対応した看護実践を展開し、患者の状況に即応した高度な判断と実践ができる能力を育成することを教育目標としている。

(2) 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員(教職員及び学生)に周知され、社会に公表されているか。

〈1〉 大学全体

- ①本学の理念・目的に関する大学構成員への周知については、学生に対しては、年度当初に実施する新入生及び各学年のガイダンスにおける履修案内の際に説明を行っている。教職員に対しては、建学の精神及び教育理念等が明記されている学則をデスクネットに掲示しておりいつでも見られるようにしている。また、建学の精神及び教育目標を明記したパネルを各キャンパス1階玄関に掲示して、大学構成員及び来客者等への周知を図っている。
- ②社会への周知については、大学案内・学生募集要項等に教育理念等を掲載しており、高等学校・塾・受験生等に配布している(資料4 「2010大学案内(医療保健学部)、2010大学案内(東が丘看護学部・大学院看護学研究科)及び2010大学院入学案内(医療保健学研究科)」)。本学のウェブサイトにおいては、建学の精神・教育目標・各学科の教育内容等を公表している(資料5 「ホームページ掲載の基本理念、理事長・学長メッセージ」)。また、高等学校教員説明会及びオープンキャンパス等においては、建学の精神・教育目標、教育課程の実施内容等について学長等から説明を行って周知を図っている。

〈2〉 医療保健学部 看護学科

看護学科の理念・目的については、毎年度4月の第1週に看護学科の教員が出席して実施する看護学科の新入生ガイダンスにおいて、周知を図っている。2年次以上の学生には、新年度の履修ガイダンス指導において、カリキュラムの説明とともに理念・目的を当該年次履修する科目と関連させて、教員が説明し、より一層の周知を図っている。また、理念・目的については、ウェブサイトに掲載し、教職員、学生はもとより広く社会一般への周知を図っている。

〈3〉 医療保健学部 医療栄養学科

医療栄養学科の理念・目的については、毎年度4月の第1週に医療栄養学科の教員が出席して実施する医療栄養学科の新入生ガイダンスにおいて、周知を図っている。

2 年次以上の学生には、新年度の履修ガイダンスの際に、カリキュラム説明、各種資格等履修科目と関連させ、各学年のアドバイザー教員が中心となり説明及び指導にあたり、一層の理解に努めている。また、臨地実習(学外)においては、同行する担当教員から実習先に説明している。さらに、医療栄養学科のウェブサイトに掲載し、学生はもとより広く社会一般への周知を図っている。

<4> 医療保健学部 医療情報学科

医療情報学科の理念・目的については、毎年度4月の第1週に医療情報学科の教員が出席して実施する医療情報学科の新入生ガイダンスにおいて、周知を図っている。2 年次以上の学生には、新年度の履修ガイダンス指導において、カリキュラムの説明とともに理念・目的を当該年次履修する科目と関連させて、教員が説明し、より一層の周知を図っている。また、理念・目的については、医療情報学科のウェブサイトに掲載し、教職員、学生はもとより広く社会一般への周知を図っている。

<5> 東が丘看護学部 看護学科

平成22年度に設置した東が丘看護学部においては、新入生入学時のガイダンスの際に理念・目的の周知を行っている。また、東が丘看護学部の設置届出関係書類は、文部科学省のウェブサイトにおいて公表されており、平成22年度に文部科学省に提出した設置計画履行状況報告関係書類は、本学ウェブサイトにおいて公表している。

<6> 医療保健学研究科

医療保健学研究科の理念・目的については、毎年度4月の第1週に医療保健学研究科の教員が出席して実施する新入生ガイダンスにおいて、周知を図っている。また、理念・目的については、大学院のウェブサイトに掲載し、学生はもとより広く一般への周知を図っており、博士課程については、平成22年度に文部科学省に提出した設置計画履行状況報告関係書類は、本学ウェブサイトにおいて公表している。

<7> 看護学研究科

平成22年度に設置した看護学研究科においては、新入生入学時のガイダンスの際に理念・目的の周知を行っている。また、看護学研究科の設置届出関係書類は、文部科学省のウェブサイトにおいて公表されており、平成22年度に文部科学省に提出した設置計画履行状況報告関係書類は、本学ウェブサイトにおいて公表している。

(3) 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。

<1> 大学全体

本学では、完成年度を迎えた平成20年度以降毎年度、教育・研究、組織・運営並びに施設・設備等の状況について自己点検・評価を行い、その報告書をウェブサイトに掲載しているが、大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性については、点検・評価項目としており、その結果については、毎年度医療保健学部学科長会議、大学院

医療保健学研究科長会議において検証するとともに、大学経営会議及び理事会・評議員会の審議・承認を経ている。

〈2〉 医療保健学部 看護学科

毎年度、理念・目的に基づき「看護学科がめざすもの」と題する活動目標を定めて、目標による管理シートを作成し、各領域及び委員会ごとに目標の管理を行っているが、前期終了時に中間評価を行い、年度末には最終評価報告会を行って検証し、これに基づいて次年度の方針を策定している。

〈3〉 医療保健学部 医療栄養学科

医療栄養学科においては、毎年度編成するシラバス作成の際に、担当教員において、当該シラバスが教育理念・目的に照らして適切であるか検証を行うとともに、学科会議においても、理念・目的の適切性についての検証を行っている。

〈4〉 医療保健学部 医療情報学科

医療情報学科においては、毎年度編成するシラバス作成の際に、担当教員において、当該シラバスが教育理念・目的に照らして適切であるか検証を行うとともに、学科会議においても、理念・目的の適切性についての検証を行っている。

〈5〉 東が丘看護学部

東が丘看護学部は、平成 22 年 4 月に設置したことから、完成年度まで設置計画に基づき着実に履行することとする。また、毎年度教育内容等に関して自己点検・評価を行うこととし、教育目的等に照らして適切に履行されているか同学部教授会において検証を行うこととしている。

〈6〉 医療保健学研究科

研究科の理念・目的の適切性については、自己点検・評価項目としており、毎年度研究科委員会及び研究科長会議において検証を行っている。

〈7〉 看護学研究科

看護学研究科は、平成 22 年 4 月に設置したことから、完成年度まで設置計画に基づき着実に履行することとする。また、毎年度教育内容等に関して自己点検・評価を行うこととし、教育目的等に照らして適切に履行されているか研究科委員会において検証を行うこととしている。

2. 点検・評価

①効果が上がっている事項

大学・学部・研究科等の理念・目的に基づき育成された有為な人材が平成 21 年 3 月から社会に巣立っているが、就職率が高く、2009 年 11 月末現在では、全国公私立大学における 2010 年内定率大学ベスト 10 の第 3 位に入っていること(資料 6 「アエラ 2010. 2. 22 号の記事「学部間の内定率格差」)、病院・医療関係企業等から高い

評価を得ていること、また、学生の受け入れでは、学部・大学院とも毎年度入学定員を超える学生が入学していることから、理念・目的・教育目標の達成に向けた取り組みが有効に機能していると言える。

②改善すべき事項

特になし。

3. 将来に向けた発展方策

①効果が上がっている事項

本学の教育研究等の充実発展を図るため、平成 24 年度をスタートとする 5 年間の中期目標・計画を策定することとしているが(資料 7 「学校法人青葉学園東京医療保健大学の中期目標・計画の策定について(21、10、21 大学経営会議、21、11、11 理事会・評議員会審議・承認事項)(22、3、10 大学経営会議、22、3、24 理事会・評議員会報告事項)」)、理念・目的に基づき教育研究等が適切に行われているかについて、自己点検・評価による検証及び外部の有識者による外部評価を実施して検証を行うことを中期目標・計画に明記して取り組むとともに、理念・目的に基づき引き続き有為な人材の育成を図ることとする。

4. 根拠資料

資料 1 「東京医療保健大学学則」

資料 2 「東京医療保健大学大学院学則」

資料 3 「大学基礎データ

(表 3) 学部・学科、大学院研究科の志願者・合格者・入学者の推移」

資料 4 「2010 大学案内(医療保健学部)、2010 大学案内(東が丘看護学部・大学院看護学研究科)及び 2010 大学院入学案内(医療保健学研究科)」

資料 5 「ホームページ掲載の基本理念、理事長・学長メッセージ」

資料 6 「アエラ 2010. 2. 22 号の記事「学部間の内定率格差」

資料 7 「学校法人青葉学園東京医療保健大学の中期目標・計画の策定について(21、10、21 大学経営会議、21、11、11 理事会・評議員会審議・承認事項)(22、3、10 大学経営会議、22、3、24 理事会・評議員会報告事項)」